

令和3年度 児童館年間利用数

井吹西児童館

月	自由来館利用人員						児童館で行った事業		その他の利用(施設の貸出等)		総合計 ①+②
	幼児	小学生		中高生	大人	合計①	事業回数	参加者	利用回数	人員 ②	
		1~3	4~6								
平成29年度	3,410	967	938	98	3,157	8,570	246回	8,943	103回	2,716	11,286
平成30年度	3,368	790	885	110	2,930	8,083	264回	9,636	83回	2,606	10,689
令和元年度	2,953	707	599	246	2,557	7,062	203回	6,270	57回	2,324	9,386
令和2年度	2,353	221	77	45	2,143	4,819	225回	5,378	25回	985	5,804
令和3年度	1,824	151	99	6	1,470	3,550	264回	6,580	37回	1,378	4,928

学童 保育 児童
16,731
16,639
17,211
14,431
20,235

方基法 針本人	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
サービスの 質の 向上	子育て支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンに親子5組以上の参加を目指す。 にこにこひろばのプログラムを充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月発行の児童館だよりに掲載して参加者を募ると共に他のひろばの参加者にも声をかける。 赤ちゃんの参加が多いことから毎学期最初に手形足形をとり成長の記念として持ち帰る 親子で出来る季節の製作を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンへの参加は2組と今年度も少ない参加であったが、その後のひろばやクラブの参加につなげることができた。 手形足形はとても人気で保護者の方に好評であった。 製作は保護者の方が夢中になって取り組んでいたが、子ども達も喜んで持ち帰っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンは児童館だより以外にも玄関前や掲示板に案内チラシを貼り、保護者の目にとまる工夫をする。また主任児童員の方とも相談し、毎月同じ日時にしない工夫もしていく。 コロナ禍の中でも楽しく参加できるように、体を動かせるプログラムも充実していく。
	児童育成の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 高学年主催の行事を年1回実施する 中高生に職業体験や福祉体験の場を提供する 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年の行事においては、昨年度に引き続き、児童館行事を縮小したため、目標に対する実践ができなかった。 福祉体験は中止になったが、中学生の職業体験は縮小して行われた。一人1日のみの体験であったが、たくさんの経験ができるように計画し実践できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染者数が落ち着く期間が少なく、計画を立てることが難しかった。 午前中だけの体験だったので来館人数やプログラムも違い全員に同じ経験をさせるのは難しかったが、乳児と関わる、保護者の方々とコミュニケーションをとる、絵本の読み聞かせ等は全員が経験することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年にとって魅力的な事業を考案し、コロナ禍でも安全に実施できるようにする。 どのような形になっても中高生が最大限に体験できるように計画し、活動の意義や福祉の大切さなどを伝えていきたい。
地域との 共生	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や活動に積極的に関わる。 近隣の学校と連絡を取り、参加できるものは積極的に参加し受け入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 井吹西ふれあいのまちづくり協議会の月1回定例会に参加した 地域の消火訓練に参加した 学童コーナーの開閉の際、教頭先生と積極的に情報の共有を行った。 トライやるウィークの積極的な受け入れを行った 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、地域の活動や大きな行事が中止となる事が多かった。定例会ではコロナ禍における地域事業を実践していく過程を話し合った。そして小規模ではあるが消火訓練など地域事業が再開したものもあった。 小学校とは密に連絡を取り合い良い関係が築けている 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での活動の再開をサポートできるように、活動に見合った職員体制を整え積極的に参加していく。 近隣学校への行事の参加もなくなっているご時世で少しでも地域の情報が共有できるよう連絡を取り合っていく。
	年間利用数	<ul style="list-style-type: none"> 自由来館の積極的な受け入れをする。 小中学生の来館を積極的に受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 自由来館者、延べ4929人を受け入れた。 小中学生は延べ256名であった 	<ul style="list-style-type: none"> 罹患の低年齢化が問題視される中昨年度に引き続き毎日の受け入れ人数の上限を10名にしたことにより年間利用数は昨年度よりも減少した。ただ、赤ちゃんタイムは人気があり毎週10名の枠が埋まるほどであった。 学童児の出席人数の増加により、小中学生の多数の受け入れが出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の状況次第ではあるが上限数を増やす、また人数が多くなった際は部屋を分ける、おもちゃの消毒用ペーパーを置く等の工夫をし、来館する親子が安心して過ごせる空間を用意して利用者を増やしていく。 小中学生が参加できる行事をポスターや児童館だよりでアピールしていく

児童館事業報告書

1. 児童館、学童保育の利用状況

別紙 児童館月別利用者一覧表のとおり

2. すこやかクラブの状況

参加組数	24	組
クラブ数	2	クラブ

3. その他のクラブ

クラブ名	赤ちゃんタイム	すくすくタイム	キッズタイム	
対象者	主に0歳児	主に1歳児	主に2歳児	
期間	R3.4～R4.3	R3.4～R4.3	R3.4～R4.3	
回数	37	18	16	
参加組数	272	105	76	

4. その他の事業

子育てサロンでお話しませんか（月1回 第4火曜日11時～12時）

わくどき村（週1回月曜日10時～11時）